

## 出エジ5 出エジプト記4章1節～17節

### 「モーセの言い訳（2）」

#### イントロ：

##### 1. 文脈の確認

- (1) 神の計画は、イスラエルの民をエジプトから解放し、約束の地に導くこと。
- (2) 神は人類の歴史に介入しようとした。
- (3) 出エジプトと新約聖書の救いには相関関係がある（ロマ6章）。
- (4) 神はモーセを通して働こうとしておられる。
- (5) しかし、モーセは言い訳を並べて神の任命を断ろうとする。
  - ① 4つの言い訳がある。
  - ② それらの言い訳は、神の資質に関する疑問でもある。
  - ③ 前回は、最初の2つの言い訳を見た。
    - \* 自分には資格がない。
    - \* 自分には知識が足りない。
  - ④ 神の答えによって、問題の50%は解決した。

##### 2. メッセージのアウトライン

- (1) 自分には力がない。
- (2) 自分は口下手だ。

##### 3. きょうのメッセージは、私たちに何を教えているか。

- (1) 自らのミニストーリーを回復する。
- (2) 出来ない理由ではなく、出来る理由を考える。
- (3) 具体的な一歩を踏み出す。

このメッセージは、自らのミニストーリーを回復し、具体的な一歩を踏み出すためのものである。

#### I. 自分には力がない（4：1～9）。

##### 1. モーセの言葉（3番目の言い訳）

「「ですが、彼らは私を信ぜず、また私の声に耳を傾けないでしょう。『【主】はあなたに現れなかった』と言うでしょうから」

- (1) モーセは40年前の失敗の記憶に縛られている。

- (2) 神のことはを否定するほど強い束縛である。
  - ①出3：18 「彼らはあなたの声に聞き従おう」
  - ②あるいは、「長老たちは信じて、民衆は信じない」という意味かもしれない。
- (3) 自分は「しるし（燃える柴）」を見ているが、彼らは見ていない。
- (4) 客観的な根拠や証拠がないのは、カルトや新興宗教の特徴である。
  - ①聖書信仰の確かさは、無数の歴史的証拠によって証明される。
  - ②聖書信仰は、「理性的理解」と「単純な信頼」のバランスの上に成り立つ。

## 2. 神の回答

- (1) 神はモーセに客観的な証拠となる3つのしるしを与える。
  - ①モーセの信仰を強め、
  - ②モーセが神から遣わされたことをイスラエル人たちに示し、
  - ③モーセの神がエジプトの神々よりも強力であることをパロに示すため。
- (2) 3つのしるしは、文化的なしるしである。

## 3. 3つのしるし

- (1) 蛇のしるし
  - ①「あなたの手にあるそれは何か」。自分が持っているものに注目させる。
  - ②「杖です」。羊飼いが持っている杖。
  - ③「それを地に投げよ」
  - ④杖は蛇になった。蛇とはコブラのこと。
  - ⑤モーセはそれから身を引いた。「モーセは飛びのいた」（新共同訳）
    - \*幻や見せかけではなく、本物のコブラである。
    - \*イエスは水を本物のブドウ酒に変えた。
  - ⑥「手を伸ばして、その尾をつかめ」
  - ⑦それは、モーセの手の中で杖になった。
  - ⑧コブラはパロの権威と神性を象徴するもの（王冠に刻み込まれていた）。
  - ⑨モーセは杖をコブラに変え、さらに尾を握ってもとの杖に変えた。
  - ⑩これは、モーセの神がパロよりも偉大であることを示している。
  - ⑪蛇はサタンの象徴でもある。この奇跡は、サタンの力ではなく神の力による。
  - ⑫私たちは蛇の尾を掴むだけでよい。頭を砕くのはメシアの役割である。
- (2) 皮膚病のしるし
  - ①「手をふところに入れよ」
  - ②手をふところに入れ、出すと、皮膚病に冒されて雪のようになった。

「彼の手はツァラアトに冒され、雪のようになっていた」(新改訳)

「手は重い皮膚病にかかり、雪のように白くなっていた」(新共同訳)

\*「らい病」というかつての訳は正確ではない。

- ③「あなたの手をもう一度ふところに入れよ」
- ④モーセの手は元通りになっていた。
- ⑤古代世界では、多くの人たちが皮膚病で苦しんでいた。
- ⑥最初のしるしを信じなくても、このしるしは信じるだろう。

### (3) ナイルの水のしるし

- ①以上の2つのしるしを信じないなら、第3のしるしがある。
- ②ナイルから水を汲み、それをかわいた土に注ぐ。
- ③その水は血となる。

\*ナイルは命の守り神である。

\*その水を血に変える神の方が偉大である。

\*豊穡なエジプトの地を不毛の地(死の地)に変えることができる。

\*ナイルにヘブル人の赤子を投げ捨てたエジプトへの報復である。

## II. 自分は口下手だ(4:10~17)。

### 1. モーセの言葉(4番目の言い訳)

「ああ主よ。私はことばの人ではありません。以前からそうでしたし、あなたがしもべに語られてからもそうです。私は口が重く、舌が重いのです」

- (1) 最後の苦し紛れの言い訳である。ほとんど笑えてくる。
- (2) 弁が立つ人が派遣された方がいい。

### 2. 神の回答(1)

「だれが人に口をつけたのか。だれが口をきけなくし、耳を聞こえなくし、あるいは、目を開いたり、盲目にしたりするのか。それはこのわたし、【主】ではないか」

- (1) 神は忍耐力を失くしつつある。
- (2) 人間の器官を造ったお方は、それを用いることもできる。
- (3) 問題は、「やる気」があるかどうかである。
- (4) 「さあ行け。わたしがあなたの口とともにあって、あなたの言うべきことを教えよう」

- (5) 「ああ主よ。どうかほかの人を遣わしてください」

①言い訳がなくなったので、懇願しているだけ。

3. 神の回答 (2)

(1) 主は怒られた。

(2) 「あなたの兄、レビ人アロンがいるではないか。わたしは彼がよく話すことを知っている」

①わたしがあなたに語る。

②あなたは彼に語る。

③彼は民に語る。

④「啓示」という概念がよく表現されている。

\*神がモーセの口を通して語る (A)。

\*アロンがそれを聞いて民に伝える (B)

\*イスラエルの民がそれを聞く (C)

\*その内容が文字として書き記され、出エジプト記として残る (D)。

(3) 「今、彼はあなたに会いに出て来ている。あなたに会えば、心から喜ぼう」

①神からの啓示があったのであろう。

②新しい幻は、人を活気づける。

③モーセよりも信仰的、熱心、従順である。

(4) 「あなたはこの杖を手に取り、これですしを行わなければならない」

①しるし(複数形)とは、10の災害のことである。

結論：このメッセージは、自らのミニストリーを回復し、具体的な一歩を踏み出すためのものである。

1. 自らのミニストリーを回復する。

(1) モーセは、隠遁生活から表舞台に引き出された。

(2) 今こそ、お客さんの信仰から、自らが主役となる信仰に飛躍する時である。

(例話)「与えることの重要性」

(3) リバイバルが起こることを前提に考える。

①自給伝道の時代

②教会堂中心から、家の教会への移行の時代

③伝統や古い枠組みだけが、聖書的というわけではない。

2. 出来ない理由ではなく、出来る理由を考える。

(1) モーセの言い訳は、私たちにも理解できる。

①自分には資格がない。

- ②自分には知識が不足している。
- ③自分には力がない。
- ④自分は口下手だ。
- (2) 神がどういうお方であるかが問題である。
- (3) 自分の能力を過小評価している。
  - ①最初はアロンが語っているが、次第にその回数は少なくなっていく。
  - ②モーセは自分の弱点を誇張していたのか。
  - ③経験が増すに従って、弱点が克服されて行ったのか。

### 3. 具体的な一步を踏み出す。

- (1) 自分自身を準備する。
- (2) モーセとアロンの関係を築く。
- (3) 私に「弟子訓練」のお手伝いをさせてください。

#### (例話) 与えること

「お世話になっております。毎週、ハーベストフォーラム東京の集會に集わせて頂いておりますYOです。先週の出エジプト記もそうですが、創世記から続き、非常に私の信仰生活にとって、多くの励ましと助けをメッセージより頂いております。感謝です。

会社を休んでいた間、色々なことを考えました。転職せよ、ということなのか、とも思いました。祈りつつ、またハーベストフォーラムにも集わせて頂く中で、神様から一つ、語られたことがあります。それは、「与えなさい」ということでした。キリストも自分が父なる神様から頂いたものを、人々に与えられました。最終的には、恥をもちともせず、ご自身をお与えくださいました。今までの人生は何かを「得る」人生でした。私の人生のベクトルは常に、自分の為になんか「得る」方向に向かっていた。自分の為、成績を取り、大学に入り、資格を取り、会社に入り…。でも、人間の目には、良いものをたくさん得たように見えても、神様の目からすると、余計なものを背負い込んだのかもしれない（別に、努力を否定するものではなく、また勉強することが必要ない、という意味ではないです）。

今後は、何かを『与える』人生を神様と送っていきたいです。人に何かを『与える』方向に転換したいです。もちろん、具体的にそれは何なのか分かりません。私自身、煉られる必要がありますし、整えられることも必要です。まだまだ時間がかかると思います。でも、少しずつ色々なことが整理できる方向に向かっていると感じます。

先生とスタッフの皆様と神様に感謝を表したく、メールいたしました」